

# 第5次西宮市総合計画 後期基本計画がスタート!

平成31年(2019年)に策定した第5次西宮市総合計画は、令和10(2028)年度までのまちづくりを進めるための指針です。このうち基本計画は、社会経済情勢の変化等に対応した施策を実現するため、前期・後期各5年で

都市目標  
未来を拓く 文教住宅都市・西宮  
～憩い、学び、つながりのある美しいまち～

構成しており、令和6(2024)年度から後期基本計画がスタートしています。

問 政策推進課 (0798・35・3666) (HP) 80303963



## 第5次西宮市総合計画策定後の 社会状況の変化や新たな課題

### 人々のライフスタイルや価値観の変化

- ▷ 新型コロナウイルス感染症による市民生活の制約
- ▷ テレワーク等の新しい生活様式とライフスタイルや価値観の変化

### 社会のあり方に影響を及ぼす新たな技術の進展

- ▷ IoTやロボット、AI、ビッグデータ等、新たな技術の進展
- ▷ 経済発展と社会的課題の解決を両立していくSociety5.0の実現

### 気候危機と脱炭素社会の実現

- ▷ 世界の全ての生き物にとっての生存基盤を揺るがす「気候危機」
- ▷ 温室効果ガスの実質的排出量ゼロを目指す、「2050年カーボンニュートラル」の表明

### 地方創生の更なる推進

- ▷ 「デジタル田園都市国家構想総合戦略」による「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」の実現
- ▷ 「こども未来戦略方針」による少子化対策の強化



## 後期基本計画の 概要と施策推進の視点

### 行政経営改革の推進

- ▷ 限られた経営資源を最大限活用
- ▷ ICTや民間活力などの活用による効果的・効率的な行政経営

### 生涯学習を基盤とした 持続可能なまちづくり

- ▷ 学びと活動が好循環となる生涯学習を基盤とした持続可能なまちづくり

### ゼロカーボンシティの実現

- ▷ 消費エネルギー削減、再生可能エネルギー導入促進等の取組
- ▷ ライフステージに応じた環境学習の推進

### 財政構造改善の取組

- ▷ 赤字基調である財務体質の改善

### 「西宮市DX」の推進

- ▷ ICT化の加速とDXを推進
- ▷ 「新時代への対応および備え」、「多様化する市民ニーズへの対応」、「課題解決から新たな価値の創造」など

### 西宮版総合戦略の推進

- ▷ 総合計画の都市目標を地域ビジョンに位置付けて、幅広い地方創生の取組を推進
- ▷ 「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を踏まえた地方創生

## 第5次西宮市総合計画の詳細はこちらで確認を

### ■ 本編・地域別アウトライン

閲覧 政策推進課(市役所本庁舎4階)、総務課(市役所本庁舎3階)、各支所・市民サービスセンター、アクタ西宮ステーション、各公民館・市民館・図書館 ※図書館は貸出可

購入 市役所本庁舎1階売店 本編2000円、地域別アウトライン300円(いずれも税込み)

### ■ 概要版

配布 市役所本庁舎1階総合案内所横、政策推進課(市役所本庁舎4階)、各支所・市民サービスセンター、アクタ西宮ステーション

総合計画の詳細は市のホームページからも確認できます



## 石井市長が地域に出向きます

# 市政報告・広聴会を開催

市長が地域に出向き、「財政構造改善」をテーマに、本市の財政状況・財政構造改善の取組等について報告します。

また、テーマに関するもののほか、市政全般の意見交換も行います。子供連れでの参加も可能です。ぜひご参加ください。



▲昨年度の市政報告・広聴会

申込 4月15日午前9時から  
市のホームページまたは電話で市民相談課へ



日程	時間	会場	定員(先着順)
① 5月 2日(木)	午前10時~11時半	市役所第二庁舎6階	会場: 50人 オンライン: 100人
② 5月18日(土)	午前10時半~正午	鳴尾中央センター(鳴尾支所3階)	各50人
	午後2時半~4時	大学交流センター	
④ 5月25日(土)	午前10時~11時半	市民会館	各50人
⑤ 5月26日(日)	午前10時半~正午	山口公民館	
	午後2時半~4時	塩瀬公民館	

※①のオンラインはZoomで配信。オンラインの申込は4月26日午後5時半まで

参加は、空きがある場合に限り当日会場でも受け付けます

問 市民相談課 (0798・35・3100) (HP) 32835281

このツツジ群落は、一時は、環境の変化で縮小していたそうですが、地域の皆さんの保全活動で、現在の景観が維持されています。毎年春には、廣田神社の境内で開花を祝う「つじ祭」が開催され、地元の子供たちによる舞楽「迎陵舞」「胡蝶」が奉納されるなど、多くの市民が集まり、にぎわいます。



▲廣田神社のコバノミツバツツジ

1934年春に廣田山を訪れた植物学者の牧野富太郎氏は、「ただ三葉 千萬人を おびき寄せ」と詠み、ツツジを絶賛したと言われています。春の青空と艶やかなツツジは、今も昔も人々を引き寄せていたのでしょう。

西宮の春を彩る花として、桜を思い浮かべる人が多いと思いますが、桜の名所の夙川公園から満池谷を抜け、廣田神社に向かうと、艶やかな紅紫の花が一面に広がっています。広大な境内に咲き誇るのには、県の天然記念物である「コバノミツバツツジ」です。桃色や紅紫色の見事な彩りは、300年以上前から「廣田山のつじ」として、訪れる人々に、神社の風情と共にゆったりとした癒しを与えています。

晴れ渡る  
廣田の山に  
つじ咲く



今月の一句!